## こうざえもんつうしん 平成27年1月11日 **講左衛門通信 第36号**

発行 天台宗忍草山東円寺 〒401-0511

南都留郡忍野村忍草38

**8** 0555-84-4114

クニマッスン 出生地 忍野村 山梨県水産技術センター 口癖 でまっすん・・・
京都にあるモ をした。東円

> 電土大我講左衛門 年齢不詳 職業 大我講の先達 (先達とは富士山案内責任者)

『あけましておめでとうでまっすん。 今年もよろしくお願いしますでまっす ん。平成 27 年新春に、どんな話をして くれるのか、ワクワクでまっすん。』 『クニマッスン、今年もよろしく頼む ぞ。さて、今年の最初の話は、1 月 5 日に聞いてきた最新情報じゃ。わしは、

京都にある石清水八幡宮に行ってきたんじゃよ。以前話をした、東円寺の天井絵を描いた中村錬吉常明のお墓を見つけるためじゃ。東円寺には、供養碑があることを話したんじゃが覚えておるかの。その石碑には、山城国八幡大谷二テと書かれてあったんじゃが、山城というのは、現在の京都のことじゃ。八幡というのは、石清水八幡宮がある八幡市のことなんじゃ。大谷というのは、地区名だったんじゃ。現在も大谷という地名はあるんじゃよ。

この地名を頼りにお墓を探すことにしていたんじゃが、今から 160 年ほど前の古墓が、簡単に見つかるわけはない。そこで、石清水八幡宮の近隣にあるお寺、または、大谷にあるお寺で聞き込みをすることにしたんじゃよ。最近は本当に便利なものがあって有難いんじゃが、インターネットで検索すると、石清水八幡宮の隣に神應寺という曹洞宗のお寺があったんじゃよ。神仏混淆の時代は、石清水八幡宮と神應寺は、同じ境内地にあったことが地図を見れば一目瞭然じゃ。このお寺で聞けば何か分かるかもしれないと思ってな、訪ねたんじゃよ。』

『何か手がかりはあったでまっすん?それとも、お墓は見つかったでまっすん?』

『まあまあ、焦るでない。神應寺というお寺の歴史も古いんじゃ。貞観二年(860)石清水八幡宮を勧請した行教律師により應神天皇の霊を祀る為に創建されたお寺なんじゃよ。当時は、應神寺と称したが、天皇と同じ名ではよろしくないということで名前をひっくり返したそうじゃ。豊臣秀吉や徳川家も代々帰依した格式高いお寺なんじゃよ。そんな格式あるお寺とは知らずに、突然訪問したわしの話を、神應寺のご住職は熱心に聞いてくれたんじゃ。大谷という所には、神應寺の末寺があって、平成10年まではそのお寺の住職をしていたそうじゃ。しかし、石清水八幡宮に関係の深い家は、谷村(たにむら)家と言うそうで、谷村家なら豪族で石清水八幡宮の神官を務めるほどの家柄であったというが、中村家は記憶にないというんじゃ。東円寺に供養碑があり戒名が分かっていることを話すと、古い過去帳を持ってきてくれたんじゃよ。わしは真剣に、覚清院大心六僮居士という戒名を探したんじゃ。けれども見つけることは出来なかったんじゃ。』『見つからなかったでまっすん?神應寺ではないお寺にあるでまっすん?』

『しかし、神應寺の奥さんが別の過去帳を持ってきてくれたんじゃよ。その過去帳には、大心六 (位居士という戒名があったんじゃ。そこには驚くべき新事実が記載されていたんじゃよ。続きは 次号で話すとしようかのう。

『待ちきれないでまっすん。』

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定